

アンモニア・NH₃

保護具	中毒が発生した時の応急措置	取扱上の注意事項	生ずるおそれのある疾患の種類及び症状
<p>○適切な呼吸器保護具（アンモニア用防毒マスク）、適切な保護手袋（化学防護手袋）、適切な眼の保護具（側板付き保護メガネ）、適切な顔面用の保護具、適切な保護衣（長袖作業衣）を着用すること。</p>	<p>○吸入した場合…空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。直ちに医師に連絡すること。</p> <p>○皮膚に付着した場合…直ちに、汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水、シャワーで洗うこと。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。直ちに医師に連絡すること。</p> <p>○眼に入った場合…水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。</p> <p>○飲み込んだ場合…口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。直ちに医師に連絡すること。</p>	<p>○貯蔵ないし取り扱う作業場には洗眼器と安全シャワーを設置すること。</p> <p>○局所排気、全体換気を行う。</p> <p>○取り扱い後にはよく手を洗うこと。</p> <p>○この製品の使用時には飲食、喫煙は禁止。</p> <p>○熱、火花、裸火、高温のもののような着火源から遠ざける。</p> <p>○ガスを吸入しないこと。</p> <p>○屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。</p> <p>○皮膚と接触しないこと。</p> <p>○眼に入れないこと。</p> <p>○環境に放出しないこと。</p>	<p>○重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷（発疹、皮膚熱傷、痛み、水疱、液体に触れた場合↓凍傷）</p> <p>○重篤な眼の損傷（発赤、痛み、重度の熱傷）</p> <p>○吸入すると有害（灼熱感、咳、息苦しさ、息切れ、咽頭痛）</p> <p>○吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ</p> <p>○中枢神経系、呼吸器の障害</p> <p>○長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害</p> <p>○水生生物に非常に強い毒性</p> <p>○長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性</p>